

角瀬保雄教授略歴と主要著作

(出版者 / Publisher)

法政大学経営学会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

The Hosei journal of business / 経営志林

(巻 / Volume)

39

(号 / Number)

4

(開始ページ / Start Page)

215

(終了ページ / End Page)

229

(発行年 / Year)

2003-01-30

角瀬保雄教授略歴と主要著作

学歴

- 1932年7月30日東京に生れる
- 1939年4月 東京都深川区立数矢小学校に入学，44年8月新潟県三条市に学童疎開，中学進学の前準備と卒業式出席のため翌年2月に帰京したが，卒業写真撮影10数時間後の3月10日，東京大空襲に被災。同級生の半数が命を失う。27年後の1972年11月12日卒業式を行なう
- 1949年3月 東京都立芝商業学校併設中学校卒業
- 1952年3月 東京都立芝商業高等学校卒業
- 1952年4月 早稲田大学第一商学部入学
- 1956年3月 同上卒業
- 1956年4月 明治大学大学院商学研究科修士課程入学
- 1958年3月 同上卒業，商学修士の学位を取得
- 1961年4月 法政大学大学院社会科学部研究科経済学専攻博士課程入学
- 1964年3月 同上単位取得
- 1996年1月 京都大学博士（経済学）の学位を取得

職歴

- 1958年11月 公認会計士事務所入所，会計士補開業登録，製造業，民営鉄道業，観光業の証取法監査実務に従事
- 1961年3月 同上事務所退所，会計士補廃業登録
- 1961年4月 法政大学経営学部研究助手
- 1964年4月 同上 専任講師
- 1966年4月 同上 助教授
- 1973年4月 同上 教授
- 2002年3月 同上 退職，この間学部で管理会計，簿記原理，簿記通論，会计学原論，会计学原理，会計学を担当，大学院で会计学特殊研究，会計理論を担当

他大学への出講

- 1969年 国学院大学経済学部（簿記）
- 1970年～1974年 武蔵大学経済学部（経営分析論）
- 1970年～1984年 静岡大学人文学部（財務諸表論，経営分析論，会計監査論）
- 1974年 立正女子大学家政学部（経営管理論）
- 1984年 中央大学大学院商学研究科（制度会計論）
- 1994年 明治大学商学部（会計監査論，税務会計論）

学会および社会的活動

- 1977年～1999年 日本科学者会議幹事，会計監査
- 1979年～1994年 日本会計研究学会評議員
- 1980年～2001年 比較経営学会（旧・社会主義経営学会）理事
- 1983年～1986年 日本経営学会理事
- 1990年～1998年 株式会社第一経営相談所顧問

- 1994年～1997年 日本学術会議経営学研究連絡委員
1994年～2001年 日本経済学会連合評議員
1993年～2000年 財団法人協総合研究所評議員
1995年～1999年 日本協同組合学会常任理事
1996年～1997年 国庫助成に関する全国私立大学教授会連合・高等教育政策検討委員会委員長
この間、1969年度法政大学教職員組合副委員長、1981年度および1994年度法政大学教職員組合委員長を務める。
1986年～現在 会計理論学会幹事、理事
1989年～現在 労働運動総合研究所監事、常任理事、理事
1991年～現在 協同総合研究所副理事長、顧問
1997年～現在 全国商業教育研究協議会代表委員、顧問
1998年～現在 東京高等教育研究所所長、顧問
2000年～現在 財団法人政治経済研究所監事
2002年～現在 非営利・協同総合研究所 いのちとくらし 理事長

主著

1. 『現代公表会計制度論』中央経済社、1973年
2. 『経済民主主義と企業会計』税務経理協会、1978年
3. 『経営分析入門』労働旬報社、1979年
4. 『企業秘密』東洋経済新報社、1980年
5. 『新しい会計学』大月書店、1986年
6. 『〔新版〕新しい会計学』1994年
7. 『現代会計基準論』大月書店、1995年（博士論文）
8. 『非営利・協同と民主的医療機関』同時代社、2000年

その他著書

1. 『賃金闘争のための経営分析』機関紙連合通信社、1975年
2. 『経営分析の手引き』東京都労働経済局、1979年
3. 『会計学（会計学第二部）』法政大学通信教育部、1985年

編著・共著・監修

1. 『競争の経営学』（神田忠雄氏ほかとの共著）青木書店、1963年
2. 『労働組合会計のついかた・みかた』（山口 孝氏ほかとの共著）労働旬報社、1963年
3. 『労働組合の財政活動』（山口 孝氏ほかとの共著）労働旬報社、1967年
4. 『避けられないか「倒産」』（野口 祐氏ほかとの共著）宇野書店、1968年
5. 『マルクス会計学』（篠原三郎氏ほかとの共著）亜紀書房、1969年
6. 『経済演習 簿記』（中込世雄氏ほかとの共著）学文社、1969年
7. 『労働組合の経営分析』（君塚芳郎氏ほかとの共著）労働旬報社、1971年
8. 『現代の会計監査』（編著）日本評論社、1974年
9. 『労働組合と経営分析』（君塚芳郎氏ほかとの共著）労働旬報社、1975年
10. 『労働者のための経営分析問答』（大谷喜伝次氏との共編著）学習の友社、1979年
11. 『現代日本企業と民主化問題』（編著）労働旬報社、1980年
12. 『現代会計学』（遠藤 孝氏ほかとの共編著）大月書店、1983年

13. 『都立病院白書 安心してらせる新しい東京の医療』（増子忠道氏ほかとの共著）東京保健医療政策研究会，1990年
14. 『現代会計の基礎』（山口 孝氏との共編著）ミネルヴァ書房，1990年
15. 『東京電力』（谷江武士氏との共著）大月書店，1990年
16. 『JA グループー〔農協〕』（田中 哲氏との共著）大月書店，1996年
17. 『規制緩和問題と経済民主主義』（監修）新日本出版社，1992年
18. 『現代会計 課題と展望』（遠藤 孝氏との共編著）ミネルヴァ書房，1993年
19. 『「規制緩和」で日本はどうなる』（監修）新日本出版社，1995年
20. 『「大競争時代」と規制緩和』（編著）新日本出版社，1998年
21. 『非営利・協同組織の経営』（川口清史氏との共編著）ミネルヴァ書房，1999年

分担執筆

1. 「労働組合簿記のしくみ」，「労働組合の会計基準」労働調査協議会編『労働組合ハンドブックⅦ財政・会計』青木書店，1964年
2. 「企業経営分析」労働調査協議会編『労働組合ハンドブックⅨ調査活動』青木書店，1965年
3. 「経営分析の意義」経営分析論研究会編『経営分析論』世界書院，1965年
4. 「教育条件についてのアンケート調査結果の分析 経営学部」（一寸木俊昭氏と共同執筆『法政大学教育白書 上』法政大学研究・教育体制懇話会，1966年
5. 「北越製紙の首切りと経営実態の分析」経営分析論研究会編『入門経営分析』世界書院，1969年
6. 「岡部理論の根本問題－『建設的提言』の理論的基礎の吟味－」京都大会計学研究室編『企業利潤論』ミネルヴァ書房，1968年（君塚芳郎，篠原三郎氏と共同執筆）
7. 「産業分析 紙パ」企業分析研究会『現代日本の産業分析』企業法論社，1969年
8. 「利潤率と企業の公表利益率」見田石介ほか監修『マルクス主義経済学講座 下』新日本出版社，1971年
9. 「国鉄財政と会計制度の『近代化』」平井都士夫ほか編『激動のなかの国鉄』汐文社，1973年
10. 「経営計画と総額貸金管理」泉 卓二編著『貸金管理論』日本評論社，1974年
11. 「剰余価値分析」君塚芳郎・坂口 康編著『経営分析論』日本評論社，1974年
12. 「修正企業会計原則の総括的批判」法政大会計学研究室編『新企業会計原則』同文館，1975年
13. 「大企業の民主的規制と監査制度」，「レーニンの『営業秘密廃止』論と今日の課題」岩尾裕純編『大企業の営業秘密』新日本出版社，1978年
14. 「多国籍企業と国際会計」岩尾裕純編著『多国籍企業経営論』日本評論社，1979年
15. 「大企業の規制・誘導の政策手段」置塩信雄・野沢正徳編『講座今日の日本資本主義10 日本経済の民主的改革と社会主義の展望』大月書店，1982年
16. 「日本的経営と資本蓄積」長谷川廣・松本正徳編『現代経営理論』中央経済社，1985年
17. 「企業社会民主化への提言」『わたしの選択あなたの未来』編集委員会『わたしの選択あなたの未来』労働旬報社，1986年
18. 「批判会計学の国際的展開」敷田礼二・山口 孝編『批判会計学の展開』ミネルヴァ書房，1986年
19. 「兼子春三先生－その学問を語る」兼子春三先生古希記念出版委員会編『現代会計学概説』中央経済社，1988年
20. 「社会主義会計の研究と国際交流」染谷恭次郎編著『会計学の国際的展開』中央経済社，1989年
21. 「地方公会計の基本問題」日本財政法学会編『地方自治と財務会計制度』学陽書房，1989年
22. 「日本的経営と資本蓄積」法政大学経営学部編『日本的経営の光と影』法政大学，1990年
23. 「ハンガリーの経済と経済改革の動向」『経済』編集部＝編『どうなるソ連・東欧経済』新日本出版

社, 1990年

24. 「活動の基礎としての財政とその運用」労働問題実践シリーズ編集委員会編『7 組織と運営の活性化』, 大月書店, 1991年
25. 「バブル経済と会計ディスクロージャー」日本経営財務研究学会編『現代経営財務政策の新展開』中央経済社, 1993年
26. 「民主的経営の地平」協同総合研究所編『非営利協同の時代』シーアンドシー出版, 1995年
27. 「ビクトリーマップと国際会計基準」全労連『検証・大企業の内部留保 (2000年版)』1999年
28. 「会計ビッグバンと内部留保の計算」全労連『検証・大企業の内部留保 (2001年版)』2000年
29. 「有価証券報告書からみる連結内部留保」全労連『検証・大企業の連結内部留保 (2002年版)』2001年

訳書

1. H. T. ダインツァー『会計思想史』(法政大学会計学研究室共訳) 法政大学出版局, 1973年
2. 『アメリカ会計学会基礎的会計理論の展開』(法政大学会計学研究室共訳) 同文館, 1973年
3. グビシアニ『組織と管理 (上), (下)』(岩尾裕純監訳) ミネルヴァ書房, 1974年, 1975年

論文

1. 「批判会計学の新たな課題」『企業会計』第13巻第7号, 1961年
2. 「会計主体論展開の方向」『経済志林』第30巻第3号, 1962年
3. 「自己資本充実と企業会計制度の展開」『企業法研究』1964年1月
4. 「会計公準論の展開」『経済志林』第32巻第1号, 1964年
5. 「独占確立段階における会計の理論構造 (上), (下)」『経営志林』第1巻第1, 2号, 1964年
6. 「現代会計原則論の展開」『経営志林』第2巻第2号, 1965年
7. 「実体概念の新展開」『実務会計』第1巻第9号, 1965年9月
8. 「経営分析の方法について」『経営志林』第1巻第4号, 1965年
9. 「労働組合会計の実態と問題点」『実務会計』第1巻第12号, 1965年
10. 「複式簿記の理論的基礎づけに関する覚書」『経営志林』第3巻第1号, 1966年
11. 「現段階における企業会計制度とその展望」『企業法研究』1966年7月
12. 「企業合併・倒産をめぐる会計問題」(山本 繁氏と共同執筆)『経済評論』第15巻第12号, 1966年
13. 「批判的経営分析における生産力理論の批判」『経営志林』第4巻第1号, 1967年
14. 「現代公企業会計論批判」『経営志林』第4巻第3号, 1967年
15. 「国鉄会計制度の基本的性格」『公営評論』第14巻第4号, 1969年
16. 「『監査制度一元化』の意味するもの」『経済評論』第18巻第12号, 1969年
17. 「『会計情報』論ノート」『経営志林』第6巻第3・4号, 1970年
18. 「修正企業会計原則の批判的検討」『経営志林』第7巻第2号, 1970年
19. 「会計情報システムと『情報理論』」『経営志林』第7巻第3号, 1970年
20. 「新私学会計制度の基本的性格」『経営志林』第8巻第2号, 1971年
21. 「私学財政の危機と新会計制度の役割」『全法政』第1572号, 1971年
22. 「現代公害をめぐる会計問題」『経済評論』第20巻第12号, 1971年
23. 「企業会計制度の反動的再編成」『経済』第97号, 1972年
24. 「レーニンの『営業秘密』廃止論と今日の課題」『経済』第110号, 1973年
25. 「国民生活と『企業秘密』」『前衛』第357号, 1973年
26. 「政治経済的環境の変化と会計」『会計』第104巻第3号, 1973年

27. 「『企業秘密』と大企業の民主的規制」『前衛』第369号, 1974年
28. 「大企業の民主的規制と監査制度」『経済』第117号, 1974年
29. 「資産再評価必要論批判」『企業法研究』第231輯, 1974年
30. 「『大幅賃上げ・物価上昇論』批判」『経済』第126号, 1974年
31. 「監査制度改正と企業会計原則」『法律時報』第46巻第9号, 1974年
32. 「多国籍企業と国際会計の諸問題」『経営志林』第11巻第4号, 1975年
33. 「商法大改正と計算・公開規定」『会計ジャーナル』第8巻第13号, 1976年
34. 「イギリスにおけるインフレーション会計の研究」『経営志林』第13巻第4号, 1976年
35. 「インフレーション会計論批判」『経済』第153号, 1977年
36. 「イギリス労働運動と企業内容公開」『経営志林』第14巻第1号, 1977年
37. 「科学的会計学の今日的課題」『経済』第157, 1977年
38. 「連結決算制度の問題点と改革方向」『経済』第174, 1978年
39. 「監査の本来的なあり方」『会計ジャーナル』第10巻第2号, 1978年
40. 「現代企業論の課題と方法」『経営志林』第15巻第2号, 1978年
41. 「経済民主主義と企業変革」『社会主義経営学会研究年報』第4号, 1979年
42. 「銀行の不正事件と銀行監査の諸問題」『税経通信』第34巻第12号, 1979年
43. 「経済民主主義に関する一考察」『経営志林』第16巻第1号, 1979年
44. 「経済民主主義と制度会計」『経済』193号, 1980年
45. 「商法改正と企業会計制度の改編」『経済』第197号, 1980年
46. 「『経営危機』と整理解雇の必要性」『経営志林』第17巻第3号, 1980年
47. 「大企業の利潤と蓄積」『経営志林』第18巻第2号, 1981年
48. 「東証二部企業論」『エコノミスト』第59巻第35号, 1981年
49. 「大企業の内部留保の構造」『経済』218号, 1982年
50. 「わが国会計基準の現代的課題」『会計』第122巻第4号, 1982年
51. 「不況下での企業収益構造の変化」『経済』第226号, 1983年
52. 「会計方法の多様性と統一性」『会計ジャーナル』第15巻第4号, 1983年
53. 「不公平税制と企業会計」『経済』241号, 1984年
54. 「会計的真實についての研究」『経営志林』第21巻第4号, 1985年
55. 「社会科学としての会計学の方法と課題」『会計理論学会年報』no.1, 1987年
56. 「大小会社区分立法と中小会社の監査制度」『経営志林』第24巻第3号, 1987年
57. 「戦後日本資本主義研究の到達点と課題—会計—」『経済』第278号, 1987年
58. 「『企業会計原則』の再検討」『会計』第135巻第2号, 1989年
59. 「ハンガリーの経済改革と企業, 税, 会計制度」『経営志林』第26巻第1号, 1989年
60. 「ハンガリーの経済と経済改革の動向」『経済』第311号, 1990年
61. 「自由選挙後のハンガリー経済とその今後」『経済』第320号, 1990年
62. 「ハンガリーの政治・経済事情と中小企業」『中小商工業研究』第24号, 1990年
63. “Struktura i funkcje japońskiego systemu rachunkowości”, RACHUNKOWOŚĆ, 1990 nr4
(trns. by A. Jaruga et al.) 「日本会計制度の構造と機能」(ポーランド, 『会計』誌)
64. 「会計と社会体制」『経営志林』第27巻第1号, 1990年
65. 「社会主義の危機と科学的経営学の課題」『経営志林』第28巻第2号, 1991年
66. 「日本の独占企業再編成の動向と特徴」『経済』第326号, 1991年
67. 「転機に立つスペイン・モンドragon協同組合」『経営志林』第29巻第2号, 1992年
68. 「今日の協同組合と資本形成問題」『仕事の発見』第24号, 1992年

69. 「バブル経済と会計ディスクロージャー」『経営志林』第29巻第3号, 1992年
70. 「規制緩和問題と経済民主主義」『季刊労働総研』第6号, 1992年
71. 「ソ連企業の失敗と民主経営への教訓」『民医連医療』第238号, 1992年
72. 「続・ソ連企業の失敗と民主経営への教訓」『民医連医療』第253号, 1993年
73. 「協同組合の企業経済理論序説」『経営志林』第30巻第2号, 1993年
74. 「イギリス協同組合の構造と展開」『経営志林』第30巻第3号, 1993年
75. 「協同組合経営の基本課題」『生活協同組合研究』216号, 1994年
76. 「ヨーロッパの協同組合経営に関わる諸問題」『生活協同組合研究』第221号, 1994年
77. 「日本的企業システムと規制緩和」『社会主義経営学会研究年報』第19号, 1994年
78. 「規制緩和、『大競争時代』と生協経営」『生活協同組合研究』第237号, 1995年
79. 「政財界の21世紀戦略と経済民主主義」『季刊労働総研』第19号, 1995年
80. 「連結決算の連結範囲拡大とその背景」『税理』第38巻第9号, 1995年
81. 「協同組合の資本形成問題」『協同組合研究』第14巻第3号, 1995年
82. 「労働者協同組合の現状と課題」『経営志林』第32巻第3号, 1995年
83. 「『民主経営』論の到達点と今後の課題」『民医連医療』第293号, 1996年
84. 「金融不祥事と公認会計士監査」『経営志林』第33巻第2号, 1996年
85. 「非営利・協同組織の経営論序説」『経営志林』第33巻第3号, 1996年
86. 「非営利・協同組織と民主的管理」『経営志林』第34巻第2号, 1997年
87. 「非営利・協同組織の会計, 監査, アカウンタビリティ」『経営志林』第34巻第1号, 1997年
88. 「農協改革と農協改革二法」(田中 哲氏との共同論文)『政経研究』第69号, 1997年
89. 「戦後批判会計学の回顧と今日の課題」『経営志林』第34巻第4号, 1998年
90. 「流通再編の現状と協同組合事業への提言」『協同組合経営研究月報』第542号, 1998年
91. 「従業員所有制度の研究」『経営志林』第35巻第2号, 1998年
92. 「会計専門職業と規制緩和」『経営志林』第35巻第4号, 1999年
93. 「会計ビッグバンの構造と課題」『経営志林』第36巻第1号, 1999年
94. 「国際会計基準とは何か」『税制研究』第40号, 1999年
95. 「わが国の医療・福祉と非営利・協同組織」『経営志林』第37巻第1号, 2000年
96. 「世界の医療・福祉と非営利・協同組織」『経営志林』第37巻第2号, 2000年
97. 「転機に立つわが国の商業高校と商業教育」『経営志林』第38巻第1号, 2001年
98. 「グローバリゼーションと世界の非営利・協同」『比較経営学会誌』第26号, 2002年
99. 「目先利潤追求の企業経営に未来はない」『前衛』第749号, 2002年
100. 「労働者協同組合の基本問題(上), (下)」『経営志林』第39巻第2, 3号, 2002年
101. 「米国型『株式資本主義』の破綻と企業会計」『経済』第76号, 2003年

研究ノート

「証取ディスクロージャー制度の改悪について」『経営志林』第9巻第1号, 1972年

論説, 時評, 随筆, 解説, 講演記録

1. 「民主的職業会計人の曲がり角」『税経新報』第12号, 1961年
2. 「わが国の監査制度について」『税経新報』第16号, 1961年
3. 「社史から見た産業史 日本鋼管株式会社五十年史」(森川英正氏との共同論文)『経済セミナー』第72号, 1962年
4. 「国税通則法反対の斗いと今後の課題」『税経新報』第22号, 1962年

5. 「巻頭言」法政大学経営学研究会『経営学研究』第5号, 1962年
6. 「管理会計論」『月刊労働金庫』第79号, 1962年
7. 「組織と管理をめぐって」法政大学経営学研究会『経営学研究』第6号, 1963年
8. 「労働組合簿記のしくみ」『賃金と社会保障』第275号, 1963年
9. 「自己金融小論」法政大学経営学研究会『経営学研究』第7号, 1964年
10. 「長期経営計画と設備計画」『経営教室』第3巻第3号, 1965年
11. 「教師と学生の連帯」『法政大学新聞』第544号, 1965年
12. 「大学生と夏休み」『法政大学新聞』第545号, 1965年
13. 「『新しい経営理念』批判」法政大学経営学研究会『経営学研究』第8号, 1965年
14. 「会計学の学問的性格」法政大学経営学部・自治会機関誌『創造』創刊号, 1966年
15. 「速報は組合のたいまつ」全金東発志村支部教宣部『さけび』第7号, 1967年
16. 「『産業再編成』・『合理化』・『経営学』」法政大学経営学研究会『経営学研究』第11号, 1968年
17. 「紙パ産業の『再編成』問題」『月刊紙パ』第10号, 1968年
18. 「新しい道を切り開こう」『法政』第191号, 1968年
19. 「不況・『ドルショック』攻撃と企業経営の実態」『賃金と社会保障』第585号, 1971年
20. 「あながきのあながき『マルクス会計学』」『法政』第223号, 1971年
21. 「紙パルプ産業の動向」『月刊紙パ』第83号, 1974年
22. 「紙パルプ産業の現況と将来の展望」『月刊紙パ』第86号, 1974年
23. 「企業をみる眼」『機関紙連合通信・特信版』第236号, 1974年
24. 「企業経理の見方」『月刊金属労働資料』第123号, 1974年
25. 「『企業秘密』と労働組合のたたかい」『学習の友』第248号, 1974年
26. 「『物不足』, インフレ, 高物価をどうみるか」『青年運動』第130号, 1974年
27. 「大企業9月期決算の特徴」『赤旗』1974年11月19日
28. 「経理部長報告『昭和49年度予算について』(広報第239号)を批評する」『全法政』第1927号, 1974年
29. 「内部留保とは」『赤旗』1975年3月30日
30. 「海外通信—イギリスから」『経済評論』第24巻第10号, 1975年
31. 「内部留保のからくり」『赤旗』1976年12月18日
32. 「誌上ゼミナール 理論会計」『企業会計』第28巻第6号, 1976年
33. 「不況下の大儲け示す大企業所得申告」『前衛』第403号, 1976年
34. 「転機に立つ公認会計士制度」『JICPA NEWS』第242号, 1977年
35. 「78年春闘と企業分析の視点」『賃金と社会保障』第736号, 1977年
36. 「連結決算と労働組合」『月刊合化』第19巻第7号, 1977年
37. 「労働組合は連結決算にどう取り組むべきか」『賃金実務』第14巻第347号, 1977年
38. 「はたらく者の経営分析(1)~(10)」『赤旗』1977年2月26日~3月10日
39. 「大企業の民主的規制論の発展」『前衛』第414号, 1977年
40. 「夏休みの読書計画に」『法政』第4巻第6号, 1977年
41. 「今日の経済危機と大企業の『減量経営』」『学生新聞』1978年12月6日
42. 「撤回せよ沖電気の指名解雇」『赤旗』1978年11月27日
43. 「やはり遠かった粉飾防止への道」『エコノミスト』第56巻第35号, 1978年
44. 「不二サッシにみる『粉飾』の土壌」『エコノミスト』第56巻第41号, 1978年
45. 「円高不況と日本経済」日本女子大通信教育部『女子大通信』第359号, 1978年
46. 「三月期決算をどうみるか」『連合通信(隔日版)』第3940号, 1978年

47. 「経済民主主義・民主的規制と労働組合」『賃金と社会保障』第760号, 1978年
48. 「大企業の内部留保と日本経済の構造的危機(上), (下)」『赤旗』1978年3月15, 17日
49. 「円高下の大企業の高収益と民主的規制」『赤旗評論特集版』第66号, 1978年
50. 「史上最高の“大儲け”の実態」『前衛』第440号, 1978年
51. 「労使における経営分析の必要性和有効性」『労働法学研究会報』1236号, 1978年
52. 「低成長下の企業決算」『月刊合化』第20巻第2号, 1978年
53. 「ディスクロージャーとは」銀行労働研究会『ひろば』第651号, 1979年
54. 「経営分析の手引き」『労働法学研究会報』第1275号, 1979年
55. 「減量経営下の企業決算の特長」『月刊合化』第21巻第4号, 1979年
56. 「紙パ産業の動向と産業政策について」『月刊紙パ』第140号, 1979年
57. 「銀行のディスクロージャー制度のあり方を考える」『銀行労働調査時報』第365号, 1979年
58. 「紙パルプ産業の動向」『月刊紙パ』第152号, 1980年
59. 「景気回復下の企業決算の特徴」『月刊合化』第22巻第3号, 1980年
60. 「減量経営下の指名解雇と経営の論理」『労働法律旬報』第1007号, 1980年
61. 「独占の高蓄積と経済の民主的再建」『労働運動』第174号, 1980年
62. 「企業会計改革の今日的課題と労働組合」『賃金と社会保障』第786号, 1980年
63. 「不公平税制の是正と『企業の活力』」『赤旗評論特集版』, 第146号, 1980年
64. 「社会科学の学び方」全国大学生協連東京地方連合会『1981年大学生活のしおり』1981年
65. 「青春時代の読書体験」『前衛』第469号, 1981年
66. 「81年春闘の意義と課題」『賃金と社会保障』第812号, 1981年
67. 「そうはいつでも, 不況でないソデふれない」『学習の友春闘別冊』1982年
68. 「紹介 ワシントン大学・ゲルハルト・G・ミューラー教授基調講演Ⅱ世界的学問としての会計学の出現」『第6回国際会計教育会議報告』1983年
69. 「低成長大企業の蓄積は進んだ」『エコノミスト』第62巻第11号, 1984年
70. 「紙パルプ産業の動向と問題点」『月刊紙パ』第198号, 1984年
71. 「東京大空襲に生き残って」法政大学教職員平和委員会『こぼとー戦後40年目の夏に』1985年
72. 「第三次商法改正をめぐる論議と外部監査について」『税経新報』第283号, 1985年
73. 「財務諸表をどう見るかー円高下の化学企業最近の決算」『合化労連資料』第49号, 1986年
74. 「円高差益で大儲けの大企業」『月刊民商』第295号, 1986年
75. 「大企業のカネ余りと国民生活」『赤旗』1986年10月18日
76. 「肥え太る大企業と労働者・国民の生活」『月刊TGU』第264号, 1986年
77. 「新『前川リポート』批判」『月刊民商』第309号, 1987年
78. 「財テクというカネコロガシ」『婦人通信』第336号, 1987年
79. 「私大会計基準と私大財政」国庫助成に関する私立大学教授会関東連絡協議会『研究資料』第26号, 1987年
80. 「紙パ大資本の海外進出と紙パ産業の展望」『紙パ連絡会』第47号, 1988年
81. 「ハンガリー訪問記」『日本の科学者』第23巻第10号, 1988年
82. 「卒業生に贈ることば」『東京都立芝商業高等学校PTAだより』第23号, 1988年
83. 「自主管理・労働者協同組合の経営学」『仕事の発見』第13号, 1989年
84. 「大企業の高収益ー深まる国民との矛盾」『経済』第298号, 1989年
85. 「独占の“ボロもうけ”, 戦略と労働者」『学習の友89春闘別冊』1989年
86. 「カネ転がしと税制改革」『赤旗』1989年8月14日
87. 「大企業もうけの構造」『学生新聞』1990年3月24日

88. 「自由化、民主化後のハンガリーの印象」『労働総研ニュース』第3号, 1990年
89. 「ヨーロッパ会計学会第13回大会記」『会計』第138巻第1号, 1990年
90. 「非常勤の目から」『経済学部教授会ニュース』第18号, 1990年
91. 「社会主義における協同を考える」『仕事の発見』第16号, 1990年
92. 「独占資本の高収益の実態と構造」『労働運動』第291号, 1990年
93. 「読売新聞社の使用者責任」『川瀬支援共闘ニュース』第11号, 1991年
94. 「病院経営に思う」『民医連医療』第223号, 1991年
95. 「協同、二一世紀への新しい課題」『月刊民商』366号, 1991年
96. 「21世紀への中小企業のキーワードは『協同化』」『第一経営』第38号, 1991年
97. 「プロジェクト研究部会報告『規制緩和問題と経済民主主義』」『季刊労働総研』第2号, 1991年
98. 「日本独占の高収益と高蓄積の構造」『労働運動』第317号, 1992年
99. 「スペイン・モンドラゴン協同組合を調査訪問して」『仕事の発見』第22号, 1992年
100. 「企業に社会的役割を發揮させる民主的規制」『赤旗評論特集版』第833号, 1992年
101. 「21世紀の協同組合と民主的参加問題」『生活協同組合研究』第206号, 1993年
102. 「<研究会通信>飯島報告への感想にかえて」『協同の発見』第21号, 1993年
103. 「ソ連企業の失敗と民主経営への教訓」関西共同印刷労働組合『斗いの友』1993年3月31日
104. 「電力料金の仕組みと特徴」『原子力ニュース』第14巻第11号, 1993年
105. 「第128回国会衆議院規制緩和に関する特別委員会参考人意見」『議録第3号』1993年
106. 「万能薬と偽って毒をもる細川『規制緩和』」『赤旗評論特集版』第883号, 1993年
107. 「財界の21世紀戦略を推進する『行革審最終答申』のねらい」『全国商工新聞』199年11月22日
108. 「公費助成運動を考える」法政大学国庫助成推進委員会『会報』第46号, 1994年
109. 「本年度の国庫助成は25億円—法政大学に配分—」法政大学国庫助成推進委員会『会報』第46号, 1994年
110. 「『新・日本経済への提言』を読んで」東京の学者・研究者日本共産党後援会『波濤』1994年5月15日臨時号
111. 「規制緩和と中小企業の進路」『民商』第398号, 1994年
112. 「大企業の『力』の秘密を解く」『学習の友』第490号, 1994年
113. 「『規制緩和』5問5答」『学習の友』第494号, 1994年
114. 「<テレビ・ラジオ評>『NHK どうする規制緩和』」『赤旗』1994年11月10日
115. 「巻頭言 規制緩和の本質はなにか」『中小商工業研究』第41号, 1994年
116. 「使途秘匿金と『相当性』概念」『旬刊速報税理』第13巻第31号, 1994年
117. 「1994年度懸賞論文講評—社会科学系—」『法政』第22巻第2号, 1995年
118. 「『価格破壊』と規制緩和を考える」『全建総連』第1430号, 1995年
119. 「規制緩和問題と中小企業」東京中小企業問題研究所『季刊中小企業問題』第73号1995年
120. 「規制緩和—何が問題か」『赤旗』1995年2月26日
121. 「規制緩和, 労働者に何をもちたか(上), (下)」『赤旗』1995年8月19, 20日
122. 「規制緩和はどこまできたか」『東京商工新聞』第161号, 1995年9月4日
123. 「民主的経営と職員の役割發揮」『生活協同組合研究』第230号, 1995年
124. 「インタビュー 行政改革委員会規制緩和小委員会 財界の掌中で踊る見直し論議」『日本農業新聞』1995年10月30日
125. 「労働組合の経営分析」全国建設関連産業労働組合連合会『第1回建設関連学習会講義録』1995年
126. 「東京協和, 安全信組問題とコーペラティブ・ガバナンス」『法政通信』第278号, 1995年
127. 「コーペラティブ・ガバナンスと監査制度」『ニュースレター 協同金融』第2号, 1995年

128. 「規制緩和でどうなる日本」『月刊民商』第408号, 1995年
129. 「規制緩和と労働法制の改悪」『学習の友』第511号, 1996年
130. 「住専問題の徹底解明のための提言」(山口 孝氏と共同で)『政経研究ニュース・レター』第66巻第3号, 1996年
131. 「『規制緩和』論のねらい」勤労者通信大学『基礎コース月報』1996年度第4号
132. 「規制緩和のねらい」『婦人通信』第450号, 1996年
133. 「競争の中で総合的な経営力の強化を—みやぎ生協—」『生活協同組合研究』242号, 1996年
134. 「試練とたたかう協同組合」『協同の発見』第50号, 1996年
135. 「芝商時代の思い出」東京都立芝商業高等学校『創立70周年記念誌1924—1996』1996年
136. 「私大連盟『高等教育財政構想』の内容と問題点」国庫助成に関する全国私立大学教授会連合『高等教育政策検討委員会年次報告1995年度』1996年
137. 「〈問いと答え〉連結決算とは」『経済』第9号, 1996年
138. 「私立大学財政の現状と将来」国庫助成に関する私立大学教授会関東連絡協議会『研究資料』第42号, 1996年
139. 「96年度公費助成の配分と教授会連合の運動」法政大学国庫助成推進委員会『会報』第52号, 1997年
140. 「NPOと協同組合の接近」『仕事の発見』第20号, 1997年
141. 「農村資金を農業の発展に投資する枠組みを」『東京新聞』1997年5月25日
142. 「労協法第一次試案を読んで」『協同の発見』第68号, 1997年
143. 「巻頭言 現代資本主義と規制緩和」『行財政研究』第32号, 1997年
144. 「規制緩和と小売業」歴史教育者協議会『歴史地理教育』第561号, 1997年
145. 「橋本行革の本質」『ほんりゅう』第163号, 1997年
146. 「規制緩和への視点」『月刊保団連』第567号, 1998年
147. 「『内部留保』とはなにか」『学習の友』第541号, 1998年
148. 「連結財務諸表で何をどう教えるか」全国商業教育研究協議会『国民のための商業教育』第54号, 1998年
149. 「韓国労働者協同組合との交流」『協同の発見』第74号, 1998年
150. 「韓国労働者協同組合運動の印象」『協同の発見』第74号, 1998年
151. 「『社会的経済』とは何か?」『経済』第29号, 1998年
152. 「早稲田人名事典 角瀬保雄」早稲田・1950年・記録の会『早稲田1950年資料と証言』第2号, 1998年
153. 「転換期の日本経済と企業会計の諸問題」『税金'99』1999年
154. 「高校の簿記教育に期待するもの」全国商業教育研究協議会『国民のための商業教育』第57号, 1999年
155. 「非営利・協同を語る」医療法人財団東京勤労者医療会『勤医会報』第15号, 1999年
156. 「非営利・協同を考える(1), (2)」『東京民医連』第735号, 736号, 1999年
157. 「経済これって何? 会計ビッグバン」『しんぶん赤旗日曜版』1999年8月22日
158. 「経済これって何? ストック・オプション」『しんぶん赤旗日曜版』1999年11月14日
159. 「経済これって何? コーポレート・ガバナンス」『しんぶん赤旗日曜版』2000年1月16日
160. 「1998年度の国庫助成と今後の国庫助成運動を考える」法政大学国庫助成推進委員会『会報』第56号, 2000年
161. 「『規制緩和』, 中小業者と国民の営業と暮らしに及ぼす影響」『月刊民商』第470号, 2000年
162. 「第34回総会方針によせて」『民医連新聞』1209号, 2000年

163. 「コラム 骨折の話」『経済』第61号, 2000年
164. 「21世紀の協同組合と『レイドロー報告』」『協同の発見』第1000号, 2000年
165. 「企業とは何か—企業活動のあり方を問う」『季刊労働者教育』第106号, 2001年
166. 「非営利・協同の事業体と会計の役割」会計集団 協働『ザ・バランス』第9号, 2001年
167. 「日本協同組合学会シンポジウム『協同組合の促進に関するILO新勧告案をめぐって』によせて」『協同の発見』第116号, 2002年
168. 「2000年度の国庫助成と法政大学」法政大学国庫助成推進委員会『会報』第58号, 2002年
169. 「経済これって何? 税効果会計」『しんぶん赤旗日曜版』2002年11月24日
170. 「第155回国会参議院内閣委員会参考人意見」『会議録第10号』2002年12月5日

シンポジウム, 座談会, インタビュー, コメント

1. 「座談会 新しい経営分析の課題」(野口 祐氏ほか)『経営教室』第1巻第9号, 1963年
2. 「座談会 日本化学工業の経営分析・40<総括にかえて>」(野口祐氏ほか)『化学経済』1964年7月
3. 「座談会 中小業界の問題」(佐藤芳雄氏ほか)『全商連資料』第39号, 1964年
4. 「討論 法政大学における教育研究体制」(川上忠雄氏ほか)『法政』第15巻第5号, 1966年
5. 「討論会 企業会計制度の現実的役割」(日本会計研究学会関東部会第38回大会)『企業会計』第23巻第5号, 1971年
6. 「シンポジウム 経営分析の成果と今後の課題(上), (下)」(一ノ瀬秀文氏ほか)『経済』第89, 90号, 1971年
7. 「シンポジウム 経営学・会計学と体制問題」(儀我壮一郎氏ほか)『経済評論』第21巻第11号, 1972年
8. 「座談会 “福田予算,, と経済の民主的改革」(高木督夫氏ほか)『月刊全自運』第148号, 1977年
9. 「座談会 経済危機と77春闘(上), (下)」(高木督夫氏ほか)『機関紙連合通信』第3741, 3742号, 1977年
10. 「座談会 国鉄経営の動向と『財政再建』」(山口 孝氏ほか)『労働経済旬報』第1035号, 1977年
11. 「シンポジウム 大企業の微増収, 大増益をどうみるか」(北田芳治氏ほか)『経済』第163号, 1977年
12. 「インタビュー こんにちは! 生協です。本当の会計学って!?!」『法大生協ニュース』第194号, 1978年
13. 「インタビュー 学問に厳しい先生も趣味はバツハからビートルズまで」法政大学通信教育部『オレンジ通信』1978年7月
14. 「コメント KDD 決算操作でも利益隠し」『赤旗』1979年11月23日
15. 「インタビュー 第26代全法政委員長 角瀬保雄さん」全法政『ミニミニニュース』第48号, 1981年
16. 「座談会 日本的経営の残された問題」(奥村 宏氏ほか)『日本の科学者』第18巻第11号, 1983年
17. 「座談会 自主生産企業の発展を展望する」(黒川俊雄氏ほか)『仕事の発見』第12号, 1989年
18. 「シンポジウム 労働者協同組合・生産者協同組合を現代に問う」(戸塚秀夫氏ほか)『仕事の発見』第12号, 1989年
19. 「シンポジウム 90年代の資本蓄積の基本方向」(関 恒義氏ほか)『労働運動』第298号, 1990年
20. 「座談会 銀行・証券会社の不正事件にメスを(1)」(坂内直治氏ほか)『仕事の発見』第19号, 1991年

21. 「アンケート 社会主義に未来はあるのか」『社会主義経済研究』第17号, 1991年
22. 「シンポジウム 協同の理念と企業変革」『仕事の発見』第21号, 1991年
23. 「インタビュー 企業に社会的役割を發揮させる民主的規制」『赤旗評論特集版』第833号, 1992年
24. 「インタビュー 公認会計士を目指す諸君へ」法政大学生協同組合『大学生生活のしおり』1992年
25. 「シンポジウム 労働組合と民主的規制」(高木督夫氏ほか)『国民本位の不況対策の実現を』全労連/労働総研, 1993年
26. 「シンポジウム 長期不況下で進む産業再編成の行方」(牧野富夫氏ほか)『経済』第346号, 1993年
27. 「シンポジウム 企業活動, 投資行動の社会的責任を考える」(野田正穂氏ほか)『銀行労働調査時報』第528号, 1993年
28. 「シンポジウム 協同組合企業の自立と経済民主主義」日本労働者協同組合連合会編『ワーカーズコープの挑戦』労働旬報社, 1993年
29. 「インタビュー 内部留保とり崩せる」『赤旗』1994年3月21日
30. 「規制緩和問題と経済民主主義」全労連・労働総研『シンポジウム報告集 不況, リストラ「合理化」と民主的規制』1994年
31. 「徹底討論 民主経営」(真田 是氏ほか)『民医連新聞』1000, 1001, 1002, 1004号, 1994年
32. 「インタビュー 財界・大企業のいい分に道理はない」『赤旗』1994年3月21日
33. 「インタビュー 就ショ苦戦線」『学生新聞』1994年6月11日
34. 「中西啓之『現代社会における協同組合の位置と役割』へのコメント」(第13回日本協同組合学会春季研究集会)『協同組合研究』第14巻第1号, 1994年
35. 「シンポジウム いまの時代と協同」(暉峻衆三氏ほか)『農業・農協問題研究』第14号, 1995年
36. 「インタビュー 注目の人」『生活ジャーナル』第190号, 1995年
37. 「インタビュー 規制緩和—労働者に何をもたらすか(上), (下)」『赤旗』1995年8月19, 20日
38. 「コメント 財界の掌中で踊る見直し論議—価格支持制度」『日本農業新聞』1995年10月30日
39. 「シンポジウム『大学財政と私学助成—法政大学の現状』」法政大学国庫助成推進委員会『会報』第47号, 1995年
40. 「アピール 消費税の税率の引き上げを中止させるために」(山田洋次氏ほか)『赤旗』1996年6月27日
41. 「インタビュー 消費税増税中止の一点で『国民へのアピール』」『赤旗』1996年11月17日
42. 「シンポジウム『法政大学の将来像と現状』」法政大学国庫助成推進委員会『会報』第51号, 1997年
43. 「シンポジウム 日本資本主義と経済民主主義」(佐々木憲昭氏ほか)『経済』第23号, 1997年
44. 「シンポジウム マルチメディア時代と法政大学」法政大学国庫助成推進委員会『会報』第53号, 1998年
45. 「座談会『人権と非営利』をめざす共同の輪を」(宮地秀彰氏ほか)『民医連医療』第309号, 1998年
46. 「座談会『非営利・協同』の探究」(川口清史氏ほか)『経済』第40号, 1999年
47. 「座長問題提起・協同組合の民主主義をめぐる諸問題」(第18回日本協同組合学会春季研究集会)『協同組合研究』第19巻第1号, 1999年
48. 「<角瀬保雄さんに聞く>企業のあり方を考える」『経済』第49号, 1999年
49. 「非営利・協同を考える(1), (2)」『東京民医連』第735, 736号, 1999年
50. 「シンポジウム 非営利・協同論の背景, 可能性, 展望」『日本医療経済学会会報』第61号, 2000年
51. 「対談 協同のあるまちづくり」(高柳 新氏と)『佐藤日出夫「安心して住みつづけられるまち」』同時代社, 2000年
52. 「コメント 第34回総会方針によせて」『民医連新聞』第1209号, 2000年

53. 「コメント 挑戦するケアワークドライバー」『協同の発見』第96号, 2000年
54. 「シンポジウム 『非営利・協同』と民医連」『民医連医療』第359号, 2002年
55. 「シンポジウム 大学院改革の現状と課題－法政大学の将来構想」法政大学国庫助成推進委員会『会報』第58号, 2002年
56. 「コメント そもそも経済ワールド? 会社って何?」『しんぶん赤旗』2002年9月17日

辞典項目

『大月経済学辞典』大月書店, 1979年

1. 紙パルプ産業
2. タックスヘイブン
3. 会計的術策
4. 会計の民主的規制
5. 剰余価値分析 (個別企業の)
6. 監査
7. 経理不正
8. 社会監査

『会計学辞典』青木書店, 2003年 (刊行予定)

1. 企業秘密
2. 経済民主主義
3. 経理の自由 (自由経理)
4. 建設的会計学
5. 公益法人会計
6. 上部構造説
7. 批判会計学

書評, 紹介

1. 「給料を全額給料袋への理論の前進のために－平石甫『所得税の源泉徴収制の違憲性について』をめぐって－」『税経新報』第10号, 1961年
2. 「根筋重男『保守主義会計の発現形態』」『経営志林』第29巻第3号, 1961年
3. A. C. Littleton and V. K. Zimmerman, Accounting Theory: Continuity and Change, 『経営志林』第31巻第4号, 1963年
4. 「河合信雄『財務諸表新論』」『経済評論』第15巻第3号, 1966年
5. 「高寺貞男『簿記の一般理論』」『経営志林』第5巻第1号, 1968年
6. 「河合信雄編『現代企業税制批判』」『立命館経営学』第9巻第4号, 1970年
7. 「敷田礼二編『企業簿記批判』」『税経セミナー』, 1972年2月
8. 「加藤盛弘『会計学の論理』」『会計』第103巻第6号, 1973年
9. 「角谷登志雄『現代帝国主義と企業』」『赤旗』1973年10月15日
10. 「宮上一男編『近代会計学の発展 (1), (2)』」『企業会計』第26巻第10号, 1974年
11. 「山口 孝『企業分析』」『赤旗』1977年8月22日
12. 「角谷登志雄『科学としての経営学』」『経済』第183号, 1979年
13. 「角谷登志雄・牟礼早苗編著『企業経営と民主的変革』」『経営志林』第19巻第3号, 1982年
14. 「小松 章『企業の論理』」『経営志林』第21巻第1号, 1984年
15. 「森 杲『株式会社制度』」『経済』255号, 1985年7月

16. Japan Society for The Study of Business Administration, Information Bulletin of The Union of Economic Associations In Japan, 1985
17. 「北原 勇『現代資本主義における所有と決定』を読んで」『科学と思想』第56号, 1985年
18. 「日本の労働組合運動編集委員会編『日本の労働組合運動 4 経済民主主義』『赤旗』1985年5月27日
19. 「原 征士『わが国職業的監査人制度発達史』『法政』第403号, 1990年
20. 「井上秀次郎『現代大企業の生産管理と民主的統制』『季刊労働総研』第13号, 1993年
21. 「大橋英五・坂口 康・勝山 進編『社会と会計』『学生新聞』1996年9月14日
22. 「山口 孝・不二夫・由二『企業分析』『経済』第15号, 1996年
23. 「富沢賢治・中川雄一郎・柳沢敏勝編著『労働者協同組合の新地平』『協同組合研究』第16巻第3号, 1997年
24. 「内橋克人編『経済学は誰のためにあるのか』を読む」『赤旗』1997年9月8日
25. 「戸木田嘉久・三好正巳編『生協職員論の探求』『経済』第30号, 1998年
26. 「生協労働研究会編『90年代の生協改革』『協同組合研究』第17巻第4号, 1997年
27. 「井上 宏編『二一世紀の経営戦略』『経済』第36号, 1998年
28. 「塩田庄兵衛『私たちの自由民権運動』『季刊労働総研』第29号, 1998年
29. 「森岡孝二『粉飾決算』『国民のための商業教育』第58号, 2000年
30. 「高等教育3研究所編『大学ビッグバンと教員任期制』『東京高等教育研究所ニュースレター』第23号, 2000年
31. 「森岡孝二『日本経済の選択』『経済』第66号, 2001年
32. 「グレッグ・マクラウド著・中川雄一郎訳『協同組合企業とコミュニティ』『協同の発見』105号, 2001年
33. 「エミール・ルーディック著・岡田 進訳『現代の産業民主主義』『比較経営学会誌』第25号, 2001年
34. 「小松正之『クジラは食べていい!』, 『法政』第547号, 2002年
35. 「森 章『ロシア会計の歴史と現代』『比較経営学会誌』第27号, 2003年

企業分析

1. 「化繊3大企業の利潤と成長」『繊維労働』第94号, 1961年
2. 「企業分析 東洋レーヨン」『企業法研究』第79輯, 1961年
3. 「企業分析 日本通運」『企業法研究』84輯, 1962年
4. 「企業分析 日本鋼管」『企業法研究』87輯, 1962年
5. 「<日本化学工業の経営分析24>東洋レーヨン・帝国人絹・旭化成」『化学経済』第9巻第8号, 1962年
6. 「企業分析 松下電器産業」『企業法研究』93輯, 1963年
7. 「<日本化学工業の経営分析34>鐘淵紡績」『化学経済』第10巻第7号, 1963年
8. 「企業分析 鐘淵紡績」『企業法研究』98輯, 1963年
9. 「企業分析 三菱油化」『企業法研究』108輯, 1964年
10. 「成長政策破綻のみちすじーモンテカチーニの経営分析」『化学経済』第11巻第9号, 1964年
11. 「企業分析 東京発動機」『企業法研究』119輯, 1965年
12. 「企業分析 呉羽紡績」『企業法研究』129輯, 1966年
13. 「企業分析 大昭和製紙」『企業法研究』136輯, 1966年
14. 「企業分析 北越製紙」『企業法研究』149輯, 1967年

15. 「企業分析 日本製紙」『企業法研究』154輯, 1968年
16. 「企業分析 王子製紙」『企業法研究』167輯, 1969年
17. 「企業分析 東邦商会」『企業法研究』181輯, 1970年
18. 「企業分析 連合紙器」『企業法研究』192輯, 1971年
19. 「企業分析 大昭和パルプ」『企業法研究』201輯, 1972年
20. 「企業分析 東京瓦斯」『企業法研究』208輯, 1972年
21. 「企業分析 十条製紙」『企業法研究』225輯, 1974年
22. 「企業分析 日本国有鉄道」『企業法研究』266輯, 1977年
23. 「必要性のない大企業の大量解雇政策—住友重機械の場合」『賃金と社会保障』第769号, 1979年
24. 「低成長下の産業再編と沖電気『合理化』(上), (下)」(井上秀次郎氏との共同論文)『賃金と社会保障』第772, 773号, 1979年
25. 「大光相銀の粉飾事件を分析する」『エコノミスト』第57巻第23号, 1979年
26. 「第一化成工業とその親会社の経営分析」第一化成工業爆発事故原因調査団『五月の黒い空を忘れない』1990年

追悼・回想

1. 「栢野さんを偲んで」『栢野晴夫先生の追憶』1983年
2. 「横倉久夫教授の会計学研究の軌跡とその遺産」『名城商学』第35巻第1号, 1985年
3. 「副島先生と革新統一」副島種典追悼集刊行委員会編『和して同ぜず』1991年
4. 「平野義政君の思い出」『ひとすじの道をあゆんで』1994年
5. 「星野さんの思い出」『星野昌敬追悼集』1995年
6. 「吉田敏幸先生を偲んで」『吉田敏幸遺稿, 追悼文集』1996年
7. 「鷺見委員長の思い出」『鷺見友好先生の思い出』1998年
8. 「川村浩義先生を追悼して」青森県高等学校・障害児学校教職員組合『川村浩義先生追悼文集 航跡』2001年
9. 「森田さんの生涯と第一経営のこと」『森田直道その仕事と回想』2002年
10. 「大谷さんを偲んで」『協同の発見』第120号, 2002年
11. 「芝田進午さんの思い出」『芝田進午の世界』桐書房, 2002年